

ユーザー事例紹介

コストパフォーマンスの高いMicroGDS Compact3Dの導入により、CAD実習の課題制作がいつでも可能になり、学生のCADスキルも向上

鳥取環境大学 環境デザイン学科

平成13年4月に開学した鳥取環境大学は、環境問題を専門に考える日本初の大学であり、鳥取県と鳥取市による「公設民営」という運営方式をとっているという点でもユニークな大学である。

「人と社会と自然が共生する、新しい地球環境の創出」をテーマとしている同大学は、「環境政策学科」「環境デザイン学科」「情報システム学科」の3つの学科で構成されている。

環境問題の解決に貢献する人材の育成のみならず、研究や公開講座などあらゆる大学活動を通じて地域に貢献し、地域に愛される大学、地域に開かれた大学をめざしている。



❖ 導入の背景

鳥取環境大学では、授業で使用するソフトウェアがインストールされた個人用ノートPCを学生全員が所有。しかしCAD実習については、演習室で限られた時間でしか作業できなかったため、各自が自由に課題に取り組む作業環境を必要としていた。

各自のPCにCAD実習用のソフトウェアがインストールされていれば、その問題が解決されるということになりCADソフトウェアの導入を検討。最終的に「MicroGDS Compact3D」を導入することに決定した。

❖ 決定要因

導入の決定要因は以下のとおりである。

- ・ MicroGDSは、2次元の作図から3次元のモデリングやCG作成まで幅広く対応できる「オールインワンCAD」であるため、CADの基本から応用までトータルに習得できる。
- ・ CADに求められる機能が全て備わっているため、様々な建築物の図面作成に対応できるうえ、価格も安価である。
- ・ ライセンスに期限設定がないため、在学期間中、継続して利用できる。

❖ 運用

現在、2年生前期の講義で、CADの基礎を習得するためにCAD・CGの実習を実施しており、その際にMicroGDSを利用している。

CAD・CG実習は、造形的発想および表現力の幅と表現能力の養成を目的としており、建築CADとコンピュータグラフィックスの基礎を学ぶものである。講義では、CAD・CGシステムについての概説の後、2次元/3次元の図形作図、課題実習を行っている。

2年生以降の課題作品制作では、CADデータでの提出が義務付けられている場合が多く、それらの課題制作をこなすことがCADのスキル向上に役立っている。



❖ 導入効果

「今やデザイン分野で必須となったCAD/CGの基礎講習を行う事により、デザイン表現の幅をおおいに広げることが出来たと思います。」(鳥取環境大学 環境デザイン学科 東樋口護教授)



鳥取環境大学 ホームページ
<http://www.kankyo-u.ac.jp/>